

大地と水と、つながりめぐる生命世界を描く
フジフィルム スクエア 企画写真展
「生き物たちの地球」 写真・文 前川貴行
同時開催：夏休み自由研究「生き物たちのふしぎ」



オランウータン(撮影地/ボルネオ) ©Takayuki Maekawa



ザトウクジラ(撮影地/トンガ) ©Takayuki Maekawa

2022年7月29日(金)–8月18日(木)

会場：フジフィルム スクエア **入館無料**

■ 写真展の見どころ

- ・動物写真家・前川貴行氏が朝日小学生新聞に連載する「生き物たちの地球」をもとにした展示です。
- ・多様な地球環境と野生動物の世界を、大判サイズの銀写真プリントで体感いただけます。
- ・自然への理解を深め、夏休みの自由研究にも役立つ多彩なプログラムを会場にご用意いたします。
(協力：朝日学生新聞社)

■ 開催概要

企画展名 : フジフィルム スクエア 企画写真展

「生き物たちの地球」 写真・文 前川貴行

同時開催: 夏休み自由研究「生き物たちのふしぎ」

開催期間 : 2022年7月29日(金) - 8月18日(木)

10:00-19:00(最終日は14:00まで、入館は終了10分前まで) 会期中無休

※ 写真展はやむを得ず、中止・変更させていただく場合がございます。ウェブサイト・電話でご確認ください。

※ 保護者の方へ ご来館の際には、政府・地方自治体等公的機関の要請を踏まえ、健康状態を十分ご考慮の上お出かけをご判断いただきますようお願いいたします。

会場 : フジフィルム スクエア内、富士フィルムフォトサロン 東京 スペース1-2、ミニギャラリー

〒107-0052 東京都港区赤坂9丁目7番3号(東京ミッドタウン・ウエスト)

TEL 03-6271-3350 URL <https://fujifilmsquare.jp/>



※ 写真展情報は、開催日の前月から富士フィルムウェブサイトにて、ご案内しています。

入館料 : 無料 ※ 企業メセナとして実施しており、より多くの方に楽しんでいただくために入館無料にしております。

作品点数 : 全倍・全紙サイズ等、約80点(予定)

・デジタルによる作品。

・展示作品は、描写性の高い富士フィルム製品「銀写真プリント」を使用。

巡回展 : 富士フィルムフォトサロン 名古屋 2022年11月4日(金) - 11月10日(木)

富士フィルムフォトサロン 札幌 2023年3月31日(金) - 4月5日(水)

富士フィルムフォトサロン 大阪 2023年7月28日(金) - 8月9日(水)

主催 : 富士フィルム株式会社

後援 : 朝日学生新聞社、日本写真家協会、日本動物園水族館協会、港区教育委員会、名古屋市教育委員会、札幌市教育委員会、大阪市教育委員会

監修者 : (公財)東京動物園協会 参与 ^{にっぽし}日橋一昭先生(元 井の頭自然文化園園長)

企画 : 高橋佐智子 (Shishmaref)

アートディレクション : 富沢祐次

■ 写真展概要

本展は、動物写真家 前川貴行氏が朝日小学生新聞に連載中の「生き物たちの地球」をもとにした企画展です。同連載で紹介された世界各地の野生動物を中心に、生命とそれを取り巻く自然の姿を美しい銀写真プリントで体感していただくものです。

前川氏は日本を含むアジア、北米、中米、アフリカ、オセアニアなど、地球上の多種多様な環境に身を置き、そこに生きる動物たちの姿を見つめてきました。自然を人間本位の物差しで測ることなく、動物との対等な関係性を意識し撮影された作品は、時には驚くほど無邪気な表情やしぐさを捉え、またある時には圧倒的な迫力を持ち、見る者に強い印象を残します。

本展は、この地球は誰のものでもなく、人間を含めた生き物たちが影響を与え合い、つながり合って暮らす多様性の場であることを伝えるものです。本展をきっかけに、人間の視点だけでなく「生き物側の目線」からも近年関心が高まっているSDGs*や生物多様性について、子どもから大人まで考えるきっかけにいただければ幸いです。

また会場では、夏休み自由研究「生き物たちのふしぎ」と題して、小・中学生向けにクイズ形式の無料配布物をご用意。写真家・監修者の「トークムービー」の配信、朝日学生新聞社による「新聞の作り方コーナー」の設置など、展示内容への理解が深まり、自由研究にも役立つプログラムをお楽しみいただけます。

エスディージーズ サステイナブル ディベロップメント ゴールズ

* SDGs (Sustainable Development Goals) とは、2015年に国連総会で採択された、2030年までに国際社会が社会課題として取り組むべき「持続可能な開発目標」です。貧困、不平等・不正義の是正、健康、教育、働きがい、気候・環境など17の目標と169のターゲットが定められています。目標13「気候変動に具体的な対策を」、目標14「海の豊かさを守ろう」、目標15「陸の豊かさを守ろう」に掲げられた取り組みは、本展に通じるものです。生き物たちの写真を通じて、SDGsについて考えるきっかけになれば幸いです。



■ 写真家からの写真展紹介

僕らの暮らす地球は、空も森も海も分けへだてなくつながるたった一つのもの。雨や風や太陽が土壌を肥やして植物や陸の生き物たちを育み、森の養分は川から海へとそそぎ水に生きる生き物たちを育みます。今回の展示では、そうした壮大な地球の営みを多様な生き物たちを通して伝えていきます。

■ 出展者紹介

前川 貴行 (まえかわ たかゆき)

1969年、東京都生まれ。動物写真家。

エンジニアとしてコンピューター関連会社に勤務した後、26歳の頃から独学で写真を始める。

1997年より動物写真家・田中光常氏の助手を務め、2000年よりフリーの動物写真家としての活動を開始。日本、北米、アフリカ、アジア、そして近年は中米、オセアニアにもそのフィールドを広げ、野生動物の生きる姿をテーマに撮影に取り組んでいる。

「情熱大陸」(TBS)、「プレミアムカフェ」(NHK-BS)などに出演するほか、動画撮影、写真展、写真集などさまざまなメディアで作品を発表している。

近著に『生き物たちの地球1』(朝日学生新聞社)、『しまふくろうの森』(あかね書房)、『ハクトウワシ』(新日本出版社)、『SOUL OF ANIMALS』(日本写真企画)などがある。2008年日本写真協会賞新人賞、2012年第1回日経ナショナル ジオグラフィック写真賞グランプリ受賞。公益社団法人 日本写真家協会理事。



©土屋勝義 Katsuyoshi Tsuchiya

URL : <https://takayukimaekawa.com/>

Facebook : 前川 貴行

Twitter : @TakayukiMaekawa

■ 監修者紹介

日橋 一昭 (につばし かずあき)

1953年、東京都立川市生まれ。大学時代に東京動物園ボランティアズに参加したことをきっかけに動物園生活にどっぷり漬かる。

埼玉県大宮公園小動物園、埼玉県こども動物自然公園、狭山市立智光山公園こども動物園、東京都井の頭自然文化園の園長を経て、現在は東京動物園協会参与(教育普及事業担当)。マナヅル国際血統登録担当者、日本動物園水族館協会の執行理事、教育指導部長、生物多様性委員会委員長等を歴任。

ライフワークとして海外の動物園・水族館にでかけ、開園から閉園まで体力と気力の続く限り園内を歩き回っている(現在はコロナ禍により中断)。その数は25カ国170カ所以上にのぼり、動物園以外にも野生動物めあてに国内外のフィールドに足を延ばしている。



©中川成生 Shigeo Nakagawa

まだ見ぬ動物たちとの出会いや、進化し続ける動物園の展示との出会いに胸を弾ませ続ける日々。

■ 朝日小学生新聞について

朝日小学生新聞は、朝日新聞の姉妹紙として、1967年から朝日学生新聞社が発行する小学生向け日刊紙。時事ニュースをわかりやすく解説することはもちろん、楽しい読み物や学習まんがなどが満載。学力アップ・受験などに役立つ内容も。週刊の朝日中高生新聞もあり。

URL : <https://www.asagaku.com/>

Twitter : @asasho

朝日小学生新聞



写真集『生き物たちの地球1』(朝日学生新聞社)を会場にて販売予定。

写真集『生き物たちの地球』表紙

■ 写真展関連プログラム

夏休み自由研究「生き物たちのふしぎ」

①小・中学生向けに、生き物たちの環境やSDGsについて考えるきっかけになるクイズ形式の無料配布物をご用意。

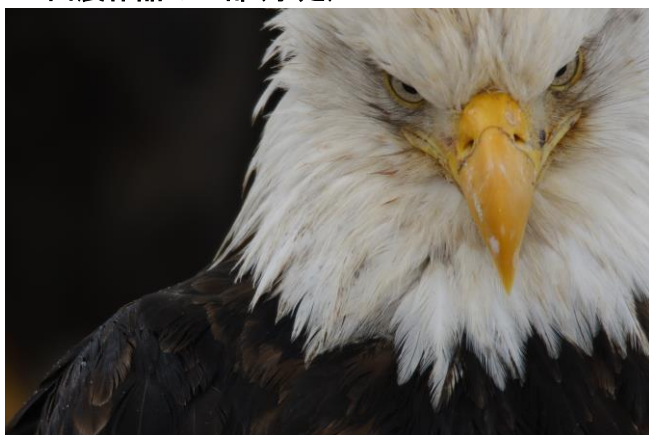
②写真家 前川貴行氏と監修者 日橋一昭氏が、自然環境や動物の生態について語る「トークムービー」を公開予定です。(司会:朝日小学生新聞編集部 猪野元健氏)
展示初日以降、フジフィルム スクエアのウェブサイト内「写真展鑑賞ガイド」に掲載予定。

URL <https://fujifilmsquare.jp/interview/>

③朝日小学生新聞が、新聞の成り立ちや作り方、読み方などを分かりやすく紹介する「新聞の作り方コーナー」を設置します。



■ 出展作品の一部(予定)



ハクトウワシ(撮影地/アラスカ) ©Takayuki Maekawa



ニホンカモシカ(撮影地/日本) ©Takayuki Maekawa



アメリカバイソン(撮影地/アメリカ)©Takayuki Maekawa



フラミンゴ(撮影地/ケニア) ©Takayuki Maekawa

■ お問い合わせ先

【写真使用についてのお願い】

- ①本写真展の告知以外にはご使用にならないでください。また、使用終了後は、写真データを破棄ください。
②トリミングはお控えください。③クレジット表記がある場合は明記ください。④写真の上に文字は載せないでください。

・作品の詳細内容について

高橋 佐智子 (Shishmaref)

E-mail shishmaref.info@gmail.com

FUJIFILM SQUARE

写真を中心とする富士フィルムのフォトギャラリー&ショップ。入館無料で、どなたでもお気軽にご覧いただけます。クオリティの高いさまざまなジャンルの写真を展示する富士フィルムフォトサロン、写真とカメラの歴史を学べる写真歴史博物館の他、最新の富士フィルム製品をご体験いただけるコーナー、さらには、スキンケア・サプリメント商品の販売を行うショップもあり、幅広い層の方にお楽しみいただける施設です。年中無休(年末年始を除く)、入館無料。



THIS IS MECENAT
2021

富士フィルムフォトサロンは、2021年、公益社団法人企業メセナ協議会より、「芸術・文化振興による社会創造活動」として「THIS IS MECENAT 2021」の認定を受けております。

■ 富士フィルムグループの長期目標の設定について

近年、持続可能な開発目標(SDGs^{*1})やパリ協定^{*2}など、社会課題解決を目指した国際的な長期目標や提言が相次いで発表されており、そうした社会課題解決のプレーヤーとして、企業への期待がますます高まっています。2030年度を目指した当社の計画「Sustainable Value Plan 2030(SVP2030)」では、こうした背景から、SDGsやパリ協定など、グローバルな目標達成への貢献を目指し、2030年度をターゲットとした長期目標を設定しました。富士フィルムグループは、SDGs達成に向けて大きく貢献できる目標を17の中から10を特定し、具体的な取り組みを目標に盛り込んでいます。

エスディーゼイズ サステイナブル ディベロップメント ゴールズ

*1 SDGs(Sustainable Development Goals): 2015年に国連総会で採択された、2030年までに国際社会が社会課題として取り組むべき「持続可能な開発目標」。貧困、不平等・不正義の是正、健康、教育、働きがい、気候・環境など17の目標と169のターゲットが定められている。

*2 パリ協定: 2015年にパリで開催された第21回気候変動枠組条約締約国会議(COP21)で採択された、気候変動抑制に関する多国間の国際的な合意協定。地球の気温上昇を産業革命前から2°C未満に抑えることが掲げられている。

富士フィルムグループが主に貢献するSDGsの目標

